

だい き だい かい がいこくじんしみんかいぎ
□第8期 第1回 外国人市民会議のまとめ

にちじ れいわがねん ねん がつ にち げつよう ごご じ じ
〔日時〕 令和元年（2019年）9月30日（月曜） 午後7時から9時

かいじょう しゃくしょ だいにちようしゃ かい きたかいぎしつ
〔会場〕 市役所 第二庁舎 4階 北会議室

しゅつせきしゃ
〔出席者〕

いいん
委員：

おう えい
・汪 穎

かどか あでいかり すすま
・カドカ アディカリ ススマ

こう ぎょくえい
・洪 玉英

そん うんじょん
・孫 恩貞

たきもと くらうでいあ
・滝本 クラウディア

ひらい つぼみ
・平井 蕾

りゅう れい
・劉 麗

りょう けんけい
・廖 娟慧

じむきょく やまもと じんけんぶん か せいさくかん たかはし じんけんせいさくかさん じ けん かちよう かたおか かちよう ほさ の べ
事務局：山本 人権文化政策監、高橋 人権政策課参事 兼 課長、片岡 課長補佐、野邊

ぼうちようしゃすう にん
〔傍聴者数〕 2人

かくいいん いしよくじょう こうふ
各委員へ 委嘱状を 交付

かいかい
開会

あんけん
〔案件〕

ざちよう およ しょくむだいいり せんしゅつ
1. 座長 及び 職務代理の 選出について

→ たきもと くらうでいあ いいん ざちよう りょう けんけいいいん しょくむだいいり せんしゅつ
滝本 クラウディア委員が 座長に、廖 娟慧委員が 職務代理に、選出される。

だい き がいこくじんしみんかいぎ き
2. 第8期 外国人市民会議の 決まりについて

→ じむきょく しりよう がいこくじんしみんかいぎ せつちようこう つか がいこくじんしみんかいぎ き
事務局より 資料2「外国人市民会議 設置要綱」を使い、外国人市民会議の 決まりについ
て説明

かいぎ うんえい こんご すす かた
3. 会議の 運営と 今後の 進め方について

じむきょく しりよう だい き とよなかし がいこくじんしみんかいぎ ほうこく しりよう がいこくじんしみんかいぎ
事務局より 資料3「第7期 豊中市 外国人市民会議 報告」と 資料4「外国人市民会議の

提言の 実施内容について」を使い、 会議の 運営と 今後の 進め方について 説明。また、第 8 期で 話し合う テーマについて 提案。

○テーマ案「住み慣れた 地域で 健康に 暮らすために」

《 会議で 検討していく 内容についての 意見 》

- ・日本人の 集団意識の 強さを 問題に 感じている。「外国人だから」という 理由で 集団に 入れない 人が づらい 思いを していると 思う。それが 子どもにも 影響して、いじめに 繋がる こともある。地域で 暮らすために どう 対応していくか について 話し合いたい。
- ・健康に 暮らす、という テーマは 良いと 思う。「健康に 暮らすために ～医食同源～」 「体を 動かすこと」 「脳を 鍛える」の 3点について 話し合いたいと 思っている。国や 文化ごとの 食や 健康維持のための 方法について 聞きたい。また、国を 越えた 互いの 言語交換の 仕組みがあれば いいと 思う。
- ・日本の 朝は 忙しく、外国人の 子どもは 朝ご飯を ちゃんと 食べられないことが多い。外国人は 日本の 料理の 知識を 持っていない ことが 多く、子どもは 学校で 和食に 慣れて、母国の 料理を 食べなくなることも ある。外国人の お母さんたちに 料理を 教える 機会があると 良いと 思う。最近、大阪市内の こども食堂の 外国人利用者が 増えてきているので、参加した人に 料理を教える システムが あれば いいと 思う。
- ・今回の テーマについては、対 象を 外国人の 子ども にするのか、大人に するのかを 決めないと 議論 できないと 思う。
- ・外国人として、日本人と どう仲良くしていくか 考えている。今まで 参加した 活動は 全部 日本人が 主導の 活動だった。外国人が 主導で、日本人を 引き込んだ 活動が できれば いいと 思う。
- ・日本人の中でも いろんな 言語を 勉強したい 人が いると 思う。そういう 人たちに 外国人の ことを どう情報発信するか、また 言語交流の システムを どう作るか というのが、今後の 課題であると 思う。

- ・初めて 日本に 来たときは、情報もなく、日本語も できないため、どこで 友達を 作るかが 問題だった。留学生等は 学校で 友達が できるが、結婚で 来日したので なかなか 友達が できなかった。子どもが できてからは お母さん同士の つながりが できた。日本語が できなくても、自分から 友達を 作るために 積極的に 動いた。
 - ・とよなか国際交流センターで 色々 助けてもらった。通訳や アドバイスを してもらったり、子どもを 連れて イベントに 参加している。同じ国の人と 知り合ったり、日本人と 交流も できるが、そういった 交流の イベントが 少なく 感じる。
 - ・子どもが いない人や 学校に 行っていない人は どうやって 友達を 作るのか。
 - ・病院に 行っても 病名が 分からず 困った。家に 帰って 辞書で 調べた。
 - ・子どもが 大きくなって、一人の 時間が 作れるようになり、家に こもっていたら 健康に なれないので、外に出て 仕事が したい。敬語が できないため 人と 話す仕事が 難しい。
 - ・郵便の 不在連絡票の 連絡は、自動音声の 対応は 難しいので、オペレーターと 直接電話が できる 時間に かけている。
 - ・お母さん同士の グループにより、地域全体が コントロールされるようなことがある。外国人は より一層 つらい思いを する 可能性が ある。相談できる 「逃げ道」のような ものがあると 良いと 思うが、本当の 解決は なかなか できない 問題である。こういったことが 不登校の 原因にも つながる。
 - ・受験生に 高校や 塾の 説明会が あったり、見学が できる。それに 参加するとき、言葉が 分からない お母さんは 大変だと 思う。細かい 内容を 伝えたり、校則などの ルールを 守らなければならない。そのための 保護者への 支援や 相談の 窓口は あるか 知りたい。
- 学校で 授業を 受けるとき、先生に 言えば 通訳は つけてくれる。説明会も 通訳を つけてくれる ものがある。市の 教育委員会には、渡日児童生徒相談室が ある。国際交流センターでの多言語の 進路相談会もあり、相談会の 時期には 広報や ホームページでも 案内 している。

- がっこうから もらう せいせきつうちひょう ぶんか しゅうかん ちが し 知らないことが あって、きちんと 評価されていないと 感じる ときがある。にほんの けいようしくすてむ がっこうせいかつ し 外国人のお母さんへの 支援が 必要である。
- がっこうの せいと なか がいこくじん こどもや、にほんじん かいがいてんきん えいご じょうず こどもが いる。そんな中で、がっこうからの プリントが 全部 にほんご かんじ で 書いていて 読めない ことがある。
- ぶんしょう るび ふ ないよう にほんじんむ にほんご 文章に ルビを 振っていても、内容が 日本人向けで やさしい日本語 ではない。
- ことば かべ があるため、しごと や しょくば さが 探したり、しょくば はな 話すことが むずか 難しい。わたし はたら きたいが、どうやって しごと を さが したら いいか わから ない。じょうほう な 情報が 無かったので こくさいこうりゅう センターを たず 訪ねたが、あまり わから ない とのことだった。
- せいかつ なか ひとり じかん できたとき よゆう が あれば しゅみ とお ともだち つく 生活の中で 一人の 時間が できた時、余裕が あれば 趣味を 通して 友達を 作ったら いい と思うが、なか には 生活するために しごと を しなければ いけない人 が いる。にほんご が できないが、いっばん にほんごきょうしつ さんかひ たか 一般的に 日本語教室も 参加費などが 高く、また、こくさいこうりゅう センターの にほんごきょうしつ 日本語教室も ようび き 決まっているため かよ うのが むずか 難しい。また、すく 少ない 回数 の 参加で きゅう はな 急に 話せるよう になるわけでは ない。にほんじん ふ あ きかい おお にほんご べんきょう むずか 日本人と 触れ合う 機会が 多くなければ、日本語の 勉強は 難しい。こくさいこうりゅう センター いベンと くに ひと あつ りょうり いベンと さんか 国際交流センターの イベントで、国ごとに 人を 集めて 料理を する イベントに 参加した ことがある。そう いった、いろん なたを 集めるような きかい が あれば いい と思う。
- なに とき がいこくじん ネットワーク 何か あった時に そばに いられるような 外国人だけの ネットワークが あれば いい。
- いま じだい けいたいでんわ じぶん くに ひと いつでも つながる ことができると 思う。しかし、がめんご ではなく、ひと あ はなし 外国人が 集まれる イベントが あっても、その イベントの じょうほう 情報が なかったら 参加できない。こくさいこうりゅう センターは そと 外に 看板が ないため、そと から こくさいこうりゅう センター について 知る 方法が ない。
- いけだし がいこくじん はいぐうしや あつ き とよなか あつ な 池田市には、外国人の 配偶者の 集まりが あると 聞いた。豊中には そうい う 集まりが ない

ように感じる。

- ・職場で、毎年 外国人向けの 職業訓練 を 行っている。20人以上が 参加できる 無料の 教室だが、今年は 3人しか 来なかった。

- ・市役所で、転入してきた 人に、情報を 交換したい 人に 同意を もらって、電話番号や Eメールの 登録をして、情報を 発信するようなことは 出来ないか。

→国際交流センターで、メールマガジンを 登録している人に 限って Eメールを 送信する システムが ある。

- ・イベントは、インターネットで 調べて 参加することが ある。他県に 住んでいる 家族は、その 自治体から 郵送で 1か月に 1回、案内が 届くらしい。

- ・日本語が ある程度 できる 外国人には、日本語や 日本の 文化に 触れることができる イベントや 習い事に 参加したり、勉強したら いい。

- ・介護の 勉強を しようと思っているが、本を みたら 文章が 長くて 難しい。外国人が 仕事をする 場所を 広げるために、おすすめの 仕事の 情報を 提供したり、参加 できるように 進めてほしい。仕事の 本も、ひらがなや やさしい日本語の ものを 作ってほしい。

- ・外国人が 参加できる 仕事に 力を入れて ほしい。

3. その他

- ・事務局より、ニューズレター発行の 説明と 各委員の 紹介文作成を 依頼した。
- ・委員への 今後の 会議の 日程調整や 連絡方法について 説明した。